

奥能登の最先端な地域づくり

## 菊炭の山里づくり運動を通じた里山保全と 未来につながる地域デザイン

NPO法人 奥能登日置らい / 大野製炭工場



※菊炭：切り口が菊の花のような模様で、茶道用として利用される高級炭

- 地元の企業や住民と協同して、耕作放棄地へクヌギを植林することにより、能登における炭やきの復興と荒廃した里山の再生に取り組んでいます。
- 山里づくり運動では、地元住民、市内外の学生ボランティア等が参加し、里山保全の意義、製炭方法等を学習したほか、植林やお茶会を体験。
- クヌギ植林によるCO<sub>2</sub>吸収、里山資源を活かした生業づくりを通じて、持続可能な地域デザインの構築を目指しています。

### 審査委員コメント

少子高齢化が深刻な奥能登・珠洲において、炭やきを持続可能な産業とするために、良質な茶の湯炭の生産、炭材となるクヌギの耕作放棄地への植林、荒廃した里山の保全活動などを長年にわたり行っています。これは地域資源を活かした三方よしの循環産業モデルであるとともに、持続的な発展を目指す地域ブランドの好例となることを高く評価します。今後は国内外に積極的に発信していくことを期待します。